

海賊対処の第17次派遣部隊が無事任務を終え帰港する

～ 派遣海賊対処行動水上部隊（第17次隊）帰国行事の様 ～

ソマリア沖・アデン湾における海賊対処のための第17次派遣水上部隊が、昨年11月13日に日本を発って以来、約6か月ぶりとなる2014年5月17日に呉基地（広島県）へ帰港した。

同部隊は、第4護衛隊司令（田尻裕昭1等海佐）の指揮の下、護衛艦「さみだれ」（斎藤貴艦長）および同「さざなみ」（林康弘艦長）の両艦で、乗員約400名（海上保安官8名同乗）により編成され、アデン湾にて36回に及ぶ護衛活動を実施した。

帰国行事では、若宮健嗣防衛大臣政務官、及び鮎田英一自衛艦隊司令官より派遣隊員への訓示などが述べられた。

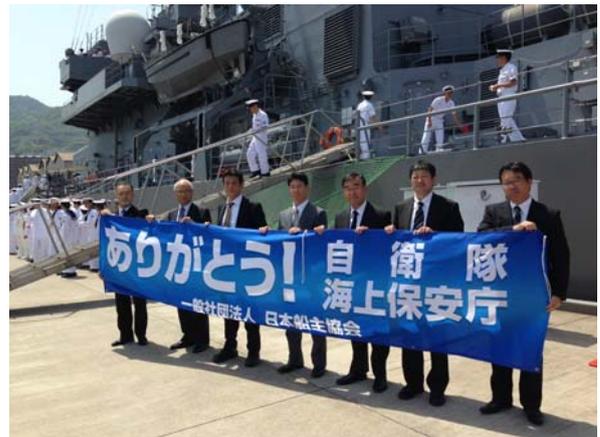
当協会からは、（株）商船三井 井上執行役員他が出席し、派遣部隊の指揮官らにお礼を申し上げるなど、護衛艦乗員の方々のご苦勞に対しあらためて感謝の意を表した。

（海務部 小山）

呉帰国行事



入港した護衛艦「さざなみ」（手前）「さみだれ」（奥）



入港を横断幕と共に迎える当協会関係者



派遣隊員に訓示を行う若宮防衛大臣政務官



若宮防衛大臣政務官より特別賞状を授与する
田尻第4護衛隊司令



派遣隊員に訓示を行う 鮎田自衛艦隊司令官



当協会を代表して隊員の方々に対し感謝の意を
を申し述べる (株) 商船三井 井上執行役員